

「臨床整形外科」最優秀論文賞 2022 発表

「臨床整形外科」誌では整形外科領域に関する独創的で優れた論文を最優秀論文賞として表彰しています。昨年1年間(2022年, 57巻)に掲載された投稿論文を対象に、厳正な審査のもと、下記論文の受賞が決定いたしました。

「大腿骨転子部骨折の術前下肢深部静脈血栓症発生に 骨折不安定性の有無が与える影響」

内山照也・森本政司・竹上謙次・友田良太・川喜田英司・小野佑太
2022年9月号(57巻9号): 1145-1152

■受賞のことは

この度は「臨床整形外科」最優秀論文賞 2022 にご選出いただき、誠にありがとうございます。

近年高齢者の脆弱性骨折が増加していますが、特に大腿骨近位部骨折は患者のADL, QOLを著しく低下させます。下肢の深部静脈血栓症(DVT)は本骨折に高頻度に合併する重大な合併症ですが、大腿骨転子部骨折治療において、不安定性とDVT発生率の相関を詳しく調べた報告はほとんどありません。そこで、今回われわれは不安定性が術前のDVT発生に影響を与えるかについて後ろ向きに調査を行いました。結果は、安定型群では16.4%、不安定型群では32.6%にDVTを認め、不安定型群に有意にDVTを多く認めました。そのため、不安定型の大腿骨転子部骨折患者の場合は、DVT発生の危険性が安定型より高いことを念頭におき、注意深い予防・早期発見に努めることが重要であると考えました。本論文の知見が読んでいただいた方の日常診療に少しでもお役に立てれば幸いです。

また、本研究の実施には、森本政司先生をはじめ済生会松阪総合病院整形外科の先生方、看護師、検査技師の方々に多大なご指導・ご協力をいただきました。また、須藤啓広教授(三重大学整形外科)には平素より多大なご支援をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。

(内山照也)



内山照也

三重大学大学院医学系研究科
運動器外科学・腫瘍集学治療学

本論文は2024年6月1日まで1年間、医学・看護の電子ジャーナルサイト「医書.jp」内において無料でご覧いただけます。受賞者には賞状と金一封、1年間の本誌冊子版と電子版閲覧権を贈呈します。雑誌「臨床整形外科」に奮ってご投稿いただきますようお願い申し上げます。